令和２年度事業実績【兵庫県立尼崎青少年創造劇場】

新型コロナウイルス感染症拡大への対応

基本方針

「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の策定による感染症対策の徹底及び安全・安心な運営

◆令和２年４月７日：新型インフルエンザ等対策特別措置法による「緊急事態宣言」発出（措置期間：4/8～5/6 まで、のち 5/31 まで延長）

臨時休館（４月８日～５月 31 日）

兵庫県対応方針により、4/8～5/31 の間、臨時休館（6/1：通常休館）

業務再開（６月２日～30 日）

総合案内、施設利用受付、貸館業務、ピッコロ劇団公演準備など

本館の改修工事に伴う休館（７月１日～８月 31 日）

- 事務室は開室し、貸館以外の業務に対応
- 夏のファミリー劇場「とっととといてよ！シャーロック・ホームズ」は伊丹の東リ いたみホールにて上演（8/15～16）

施設再開（９月１日～）

【主なコロナ対応策】

［席数半減等］

三密の回避に向けて、いずれの主催事業・公演も席数・参加者数を定員の半数以下に抑えたほか、劇団員・関係スタッフのＰＣＲ検査の公演前実施をはじめとする各種感染防止対策の徹底を図るなど万全の体制で臨んだ。

［貸館利用者にも感染予防対応の徹底］

貸館事業においても､利用者に感染予防ガイドラインの遵守をお願いするとともに、緊急事態宣言中はホール・練習室の定員を半数以下で利用するよう徹底を図った。

① 「#またピッコロで会いましょう プロジェクト」の立ち上げ、ＰＲ動画などのコンテンツ（朗読ムービー、劇場探検ツアー、歌唱リレーなど）配信（５月から順次実施）
② 「尼崎青少年創造劇場新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の策定（５月 21 日）
③ 館内の衛生面での感染予防対策（４月以降順次対応）
④ ピッコロ劇団員及び関係スタッフへの劇団公演前ＰＣＲ検査の実施（８月以降）
⑤ ファミリー劇場でのコロナ禍ならではの工夫（８月 15～16 日、12 月 19～20 日）
⑥ ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校について、半年間の短縮カリキュラムによる体験プログラムとして開催（９月スタート）
⑦ ピッコロサポートクラブ会員と劇団員とのオンライン交流会（12 月６日）

※ 具体的には次ページ参照

◆令和３年１月 13 日：「緊急事態宣言」発出（２回目）

（措置期間：1/14～2/7 まで、のち 3/7 まで延長後、3/1 解除　開催･施設利用制限は 3/7 まで）

イベント制限を踏まえた開館

- 開催制限
  ① 収容率要件 50%以下
  ② 20 時までの開館時間短縮
- 施設利用制限
  20 時までの利用（ただし、予約済みの施設利用には適用しない）

※ 事業の詳細は、以下の報告内に記載

【主なコロナ対応策】

１　「#またピッコロで会いましょう　プロジェクト」の立ち上げ、ＰＲ動画などのコンテンツ（朗読ムービー、劇場探検ツアー、歌唱リレーなど）配信（５月から順次実施）

・　ピッコロ劇団員が「＃またピッコロで会いましょう プロジェクト」を立ち上げ、地元の民話・古典落語の紙芝居や児童文学の朗読ムービー、劇場探検ツアー、ピッコロ劇団員による歌唱リレー、演劇作品の名台詞紹介などをオンラインで配信

・　ピッコロシアターの歴史・取組などを紹介するＰＲ動画（劇場編、演劇学校・舞台技術学校編、ピッコロ劇団編）を制作し、ホームページ等で配信

２　館内の衛生面での感染予防対策（４月以降順次対応）

・　館内への手指消毒液、受付設置用アクリル板の設置、サーモグラフィなど検温システムの整備、兵庫県新型コロナ追跡システムの活用、練習室及び楽屋への空気清浄機の設置、別館稽古場の換気設備設置など

・　特別清掃（大ホール客席の全シートなどへの除菌・抗ウイルス加工）の実施

３　ピッコロ劇団員及び関係スタッフへの劇団公演前ＰＣＲ検査の実施（８月以降）

令和２年度第１回目の劇団公演となった夏のファミリー劇場（東リ いたみホール）での上演以降、各公演前に実施

４　ファミリー劇場でのコロナ禍ならではの工夫（８月 15～16 日、12 月 19～20 日）

・　親子・家族で楽しめるよう配席の並びを工夫したり、登場人物のイラストを空席の背もたれに貼り付けるなど、楽しい雰囲気づくりを醸成

・　12 月の芸術文化センター公演では、終演後の役者と会場の子どもたちとの例年のふれあいタイムに替えて、役者と観客が一体となってクリスマスソングを振り付けや手拍子で演出し、会場を盛り上げた（振付を上演の約２週間前からネットで動画配信）

５　ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校について、半年間の短縮カリキュラムによる体験プログラムとして開催（９月スタート）

・　毎授業、参加者全員が検温・手指消毒を行い、常時マスク着用、アクリルボードの併用、参加者同士の距離を十分にとるなどの感染防止対策を徹底

・　開講前から予習動画をインターネット配信して、参加者の学習意欲向上に配慮

・　２、３月には、観客を入れての両校合同の卒業公演に代えて、関係者のみの立ち合い（無観客）でコースごとの学習成果発表会を開催

６　ピッコロサポートクラブ会員と劇団員のオンライン交流会（12 月６日）

総会や交流会、稽古見学会の開催をとりやめ、代わりに会員と劇団員とのオンライン交流会を試行的に開催。

尼崎青少年創造劇場の運営

１　主催公演事業

(1) ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能、音楽（室内楽）などの優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場を開催した。また、子どもと大人が一緒に楽しめる演劇や落語会など、明日のひょうごを担う子どもたちに優れた舞台芸術にふれる機会を提供した。

なお、令和２年度は、コロナ禍により一部事業が中止・延期となった。

事　業　名	公演年月日	出演者等	入場者
ピッコロ室内楽サロン＜185＞　共催 （小ホール）	2．9．12(土)	出演＝佐野里穂、福嶋令奈、須山由梨	12
ピッコロ寄席「桂枝雀一門会」 （大ホール）	2．9．26(土)	出演＝桂南光、文之助、九雀、紅雀、九ノ一	137
ピッコロ室内楽サロン＜186＞　共催 （小ホール）	2．11．14(土)	出演＝フルートカルテットエミココ	30
劇団風の子関西 「風の少年シナド」 （大ホール）	2．12．6(日)	出演＝劇団風の子関西	115
ピッコロ寄席「桂吉朝一門会」 （大ホール）	2．12．13(日)	出演＝桂あさ吉、吉弥、よね吉、吉坊、吉の丞	175
ピッコロ寄席「桂米團治独演会」 （大ホール）	3．2．7(日)	出演＝桂米團治、宗助、慶治朗	179
シアタースタート 民族芸能アンサンブル若駒 「はるなつあきふゆ　あそぼあそぼ」 （中ホール）	3．3．12(金) (2公演) ※5月に予定していたが、3月に延期	構成・演出＝つげくわえ 出演＝民族芸能アンサンブル若駒	111
ピッコロ室内楽サロン＜188＞　共催 （小ホール）	3．3．13(土) (2公演)	出演＝ミラクルセッション	70
ピッコロ寄席 「子どもと楽しむ落語会」 （大ホール）	3．3．28(日)	出演＝桂吉弥、紅雀、團治郎 (注)例年の開場時間後の舞台上での鳴り物体験は中止	171
合　計　９事業（演劇２、音楽３、落語４）			1,000

〔コロナ禍により中止した７事業〕

事　業　名	公演年月日	出演者等
劇団うりんこ 「遍歴の騎士 ドン・キホーテ」共催 （大ホール）	2．4．25(土)	原作＝セルバンテス 翻訳＝牛島信明 脚本・演出＝山崎清介 出演＝劇団うりんこ
ピッコロ室内楽サロン＜184＞　共催 （小ホール）	2．5．9(土)	出演＝ライラック
ピッコロ寄席「桂ざこば一門会」 （大ホール）	2．5．16(土)	出演＝桂ざこば　ほか

文学座公演 「昭和虞美人草」 （大ホール）	2．6．27(土)、 28(日) (2公演)	作＝マキノノゾミ 演出＝西川信廣 出演＝早坂直家　ほか
いいだ人形劇センタープロデュース せかいの劇場 VOL.9 「シュッシュッ ウー ワン！ こいぬの大冒険」 （中ホール）	2．11．22(日)	出演＝ナイブニ人形劇場(チェコ)
ピッコロ室内楽サロン＜187＞　共催 （小ホール）	3．1．9(土)	出演＝トレスコローレス
方丈の海 2021 プロジェクト 「方丈の海」　共催 （大ホール） （東北演劇人との交流企画） **（文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助）**	3．3．20(土)、 21(日) (2公演)	作＝石川裕人 演出＝渡部ギュウ （ＳＥＮＤＡＩ座☆プロジェクト） 出演＝絵永けい（初演時の OCT/PASS メンバー)、横山真（丸福ボンバーズ）ほか

(2) ピッコロフェスティバル（中止）

開館記念日（８月 19 日）を中心に約 1 カ月にわたり、例年、開催していた「ピッコロフェスティバル」は、令和２年度の本館大規模改修工事による７～８月閉館のため中止とした。

その代替事業として 11 月に「体感！ピッコロシアター～１日体験イベント～」を予定していたが、10 月下旬以降のコロナ禍再拡大に伴い、やむなく中止した。

２　自主公演事業

県立ピッコロ劇団事業

尼崎青少年創造劇場が長年培ってきた人材育成事業の集大成として創設した県立ピッコロ劇団が、優れた舞台芸術の創造と地域文化の振興をめざして、ピッコロシアター等での演劇公演を中心に、演劇指導、外部出演など多彩な活動を展開した。

【設　　立】平成６年４月１日
【劇団代表】岩松 了（劇作家・演出家・俳優）
【客　　員】鵜山 仁（演出家＝文学座）、喜志 哲雄（京都大学名誉教授）、
杉本 了三（演劇プロデューサー）、内藤 裕敬（劇作家・演出家＝南河内万歳一座）
【劇 団 員】35 名（男 17 名、女 18 名）（R3.3.31 現在）

(1) 劇団公演の実施

大人向け、ファミリー向け、小・中学生向けなど、幅広く良質の創作演劇を提供した。なお、令和２年度は、コロナ禍により公演が一部中止・延期となった。

〔文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助〕

事　業　名	公演年月日	出演者等（※：ピッコロ劇団員）	入場者
ファミリー劇場 **「とっととといてよ！ シャーロック・ホームズ」** （東リいたみホール(伊丹市立文化会館)）	2．8．15(土) ～16(日) (2公演)	作＝早船 聡 （サスペンデッズ） 演出＝平井久美子（※） 出演＝ピッコロ劇団員	535
中学生のための演劇鑑賞体験事業 ピッコロわくわくステージ **「とっととといてよ！ シャーロック・ホームズ」** （大ホール）	2．11．25(水) ～12．2(水) (10 公演)		16 校 1,602
ファミリー劇場 **「とっととといてよ！ シャーロック・ホームズ」** （県立芸術文化センター阪急中ホール）	2．12．19(土) ～20(日) (3公演)	＊ 12 月公演について 例年はオーディションによる子ども達約 20 名が出演しているが、コロナ禍により出演募集を取り止め。	735

おでかけステージ **「学校ウサギをつかまえろ」** (①尼崎市立上坂部小学校、大ホール) (②上郡町立高田小学校、同校体育館)	①2. 10.15(木)、16(金) (3公演) ②2. 10. 22(木) (1公演)	原作＝岡田　淳 台本＝眞山直則（※） 演出＝吉村祐樹（※） 出演＝ピッコロ劇団員	①555 ②188 計743
第 68 回公演 **「ホクロのある左足」** （大ホール）	2. 10. 2(金) ～4(日)、6(火)、7(水) (6公演)	作＝別役 実 演出＝岩松 了 出演＝ピッコロ劇団員 **＊ 故 別役氏メモリアル公演**	875
第 69 回公演 ピッコロシアタープロデュース **「波の上のキネマ」**(☆) (県立芸術文化センター阪急中ホール)	3. 2. 19(金) ～21(日) (5公演)	原作＝増山 実 「波の上のキネマ」(集英社) 脚本・演出＝岩崎正裕 （劇団太陽族） 出演＝ピッコロ劇団員ほか **＊関西俳優陣からオーディション等により６名出演**	1, 102
合　計　６事業、30 公演 【本公演２本、ファミリー劇場２本、わくわくステージ(秋)、おでかけステージ】			5, 592

☆ 第 69 回公演関連企画「波の上のキネマ」を語る！スペシャル座談会
（阪神南県民センターからの受託事業）
・３．１.19（火）ピッコロシアター大ホールにて開催（来場者数 98 人）
・出演：原作者の増山 実氏、演出・脚本を手掛けた岩崎正裕氏、キャストのピッコロ劇団員など

（参考１）ピッコロ劇団公演における鑑賞サポート実施状況

① ファミリー劇場**「とっととといてよ！シャーロック・ホームズ」**
（８月 東リいたみホール）
視覚障害のある方向けに音声ガイド付きで上演。受付では、手で触れて舞台をイメージしてもらえるよう舞台の立体コピーを作成展示。

② わくわくステージ**「とっととといてよ！シャーロック・ホームズ」**(11 月 大ホール)
・ 姫路聴覚特別支援学校生徒向けにバックステージ解説に手話通訳。
・ 神戸市立盲学校生徒向けに音声ガイド付きで上演。手で触れて舞台をイメージしてもらえるよう舞台の立体コピーを作成展示。

③ 第 69 回公演**「波の上のキネマ」**（２月 県立芸術文化センター阪急中ホール）
聴覚障害のある方向けにタブレットを配布して字幕によるセリフ・歌詞・場面紹介などを配信、受付等での手話通訳。

（参考２）第 23 回関西現代演劇俳優賞（2020 年）をピッコロ劇団員２名が受賞

① 大賞　**風太郎**（平成 16 年度入団）
対象作：「とっととといてよ！シャーロック・ホームズ」での視覚障害者のための音声ガイドや、ピッコロ劇団オンライン版紙芝居「おはなしＢＯＸ」の脚本・絵・朗読を通して、誰もが演劇を楽しめる環境づくりに貢献

② 奨励賞　**田渕 詩乃**（平成 30 年度入団）
対象作：「とっととといてよ！シャーロック・ホームズ」のハドソン夫人役で、の慈愛をたたえた若い母親の演技が評価

（参考３）バリアフリー研修の実施

ファミリー劇場（東リ いたみホール）での鑑賞サポート実施に先立ち、視覚障害者の誘導案内（弱視体験、手引き体験）やグループワークなどの実践研修を当該ホールの職員等と合同で開催した。
・開催日　令和２年７月 22 日（水）
・会　場　東リ いたみホール（手引き体験：大ホールの客席、ロビー、階段、トイレ）
・参加者　当劇場職員、ピッコロ劇団員、東リ いたみホール等職員　計 22 名
・講　師　南部充央氏（日本障害者舞台芸術協働機構代表理事）

〔コロナ禍により中止した５事業、21 公演〕

事　業　名	公演年月日	出演者等　（※：ピッコロ劇団員）
オフシアターVol.36 **「もういちど、鴨を撃ちに」**（注） （中ホール）	2.4.10(金) ～12(日) (5公演)	作＝A.ヴァムピーロフ「鴨猟」 (訳＝宮澤俊一・五月女道子 群像社) 台本・演出＝島守辰明（※） 出演＝ピッコロ劇団員
第67回公演 **「スカパンの悪だくみ」**（注） （大ホール）	2.5.22(金) ～24(日)、 30(土)、31(日) (6公演)	作＝モリエール （鈴木力衛訳 中央公論社） 台本＝上原裕美 （ピンクのレオタード） 演出＝孫　高宏（※） 出演＝ピッコロ劇団員 ※ わくわくステージ(５～６月期) の参加申込：14 校、1,992 名
ピッコロわくわくステージ （５～６月期） **「スカパンの悪だくみ」**（注） （大ホール）	2.5.23(土) ～6. 2(火) (7公演)	
市町ホール公演 **「スカパンの悪だくみ」**（注） （ライフピアいちじま(丹波市)）	2.6.18(木) (2公演)	
市町ホール公演 **「学校ウサギをつかまえろ」** （太子町立文化会館あすかホール）	2.11.10(火)	原作＝岡田　淳 台本＝眞山直則（※） 演出＝吉村祐樹（※） 出演＝ピッコロ劇団員

（注）コロナ禍により中止となった下記の２演目は次のとおり対応。

① オフシアターVol.36「もういちど、鴨を撃ちに」→３年度に Vol.37 として５公演(3.4.9～11)

② 第 67 回公演「スカパンの悪だくみ」→・第 70 回公演として６公演（3.5.23～6.1）
・わくわくステージ（3.5~6 月期）でも上演

(2) 演劇の指導

大学や高等学校等に劇団員を指導者として派遣することによる演劇ワークショップ等を県下各地で開催。ピッコロ演劇学校においては、本科及び研究科の主任講師、助手をピッコロ劇団員が通年で担当。

なお、特に年度前半は、コロナ禍で中止やオンライン対応となった指導も多かった。

事業等名	劇団員	実施年月日	開催場所 **【コロナ禍による実施方法の変更等】**
ピッコロ演劇学校 本科 体験プログラム	山田　裕 菅原ゆうき 杏華 (9月~)	通年 (毎週火・木)	ピッコロシアター **【９月から短期カリキュラムによる体験プログラムとして実施】**
ピッコロ演劇学校 研究科 体験プログラム	島守辰明 樫村千晶 堀江勇気 (9月～)	通年 (毎週火・木)	ピッコロシアター **【９月から短期カリキュラムによる体験プログラムとして実施】**
兵庫県立宝塚北高校	木之下由香	通年 (毎週木・金)	兵庫県立宝塚北高校 **【４・５月は登校日に課題出題及び動画配信、６月から通常授業】**
兵庫県立伊丹北高校	孫　高宏	通年 (毎週水)	兵庫県立伊丹北高校 **【４・５月休校。６月から通常授業】**
プール学院高等学校	中川義文 杏華	通年 (毎週火)	プール学院高等学校 **【４月休校、５月動画配信、６月２週まで半数授業、6／16から通常授業】**
大阪市立咲くやこの花高校	木村美憂	通年 (毎週火・木)	大阪市立咲くやこの花高校 **【４・５月休校、５月に２回オンライン授業、６月２週まで半数授業、以降通常授業】**
甲南女子大学	本田千恵子	通年 (毎週水・木・金)	甲南女子大学 **【前期は予定日から２週遅れで ZOOM 授業を開始、後期は通常授業】**
大阪芸術大学	本田千恵子	通年 (毎週月・水)	大阪芸術大学 **【前期はZOOMによるオンライン授業、後期は通常授業】**

近畿大学	島守辰明	通年 (毎週月)	近畿大学 **【４・５月休校、６～８月オンライン授業（週３コマ）、９月から通常授業】**
劇団高円養成塾	島守辰明	通年 (毎週土)	奈良市ならまちセンター **【７月までオンライン、８月はオンラインと通常を交互、９月から通常授業】**
クラーク記念国際高校芦屋キャンパス	中川義文	通年 (毎週水)	クラーク記念国際高校 **【４～６月下旬まで休講、６／24から通常授業】**
神戸市立小部中学校演劇部	中川義文	通年 (不定期) (主に木・金・土)	神戸市立小部中学校 **【４・５月部活動停止、６／25より部活開始、8/1～17夏季休暇中中止、8/21から部活動再開】**
大阪アニメ・声優＆ｅスポーツ専門学校	中川義文	通年 (毎週火)	大阪アニメ・声優＆ｅスポーツ専門学校 **【４月から５月下旬まで休校、5/26から1クラス内をオンライン班と対面班に分け、ZOOMを使って同時に授業実施、6/23から通常授業】**
特定非営利活動法人　東京ソテリア主催 「マラー／サド」	中川義文	通年 (不定期) (月1回程度)	YMCA京都、高槻南スクエア、北浜スタジオ **【公演は来年に延期、代わりに10月に講演会を実施、６月まで稽古中止、月1回の準備委員会オンライン会議、７月から稽古再開（９月まで）、10月以降、月１回程度、演技指導】**
ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪	樫村千晶	通年 (毎週水・金)	ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪（大阪市） **【５月オンライン授業、６月から７月初旬通常授業、夏休みまでの２回オンライン授業、後期は10月から通常授業】**
特定非営利活動法人やんちゃんこ 演劇ワークショップ	風太郎 吉江麻樹 有川理沙 金田萌果 田渕詩乃	通年 (不定期) (日曜に2,3回)	やんちゃんこふれあいスペース（尼崎市） **【活動開始を３ヵ月延期,7/12から実施】**
ヒューマンアカデミー　三宮校	眞山直則	10～12月	ヒューマンアカデミー三宮校 **【一部オンラインにて実施】**
豊岡市新任職員研修	本田千恵子 木村美憂 鈴木あぐり 谷口　遼	2.4.6	豊岡市健康福祉施設 多目的ホール
あつまれ！ピッコロひろば	吉江麻樹 孫　高宏	2.6.9 2.6.23 2.7.3	養父市立建屋小学校 （ワークショップ３回）
	吉江麻樹 孫　高宏	2.10.8 2.10.19	（上演指導２回）
堺市立三国丘小学校　ワークショップ	木村美憂	2.7.3	堺市立三国丘小学校
みんなの尼崎大学オンラインゼミ第3回 「オンラインは舞台だ！ 演劇レッスンで表現力を学ぼう」	本田千恵子	2.7.7	オンライン（Ｚｏｏｍ）
アフタースクール コドシア　ワークショップ	原　竹志	2.7.30	アフタースクール コドシア （教育付き民間学童保育）（神戸市）
兵庫県立神崎高校 コミュニケーション能力育成研修	本田千恵子 中川義文	2.9.9	兵庫県立神崎高校
県立教育研修所 高等学校初任者研修	本田千恵子	2.9.10、 10.16、11.5	県立教育研修所(加東市)
第10期阪神南地域ビジョン委員会委員 コミュニケーションワークショップ	本田千恵子	2.9.13	西宮市大学交流センター

兵庫県立鳴尾高校 コミュニケーションワークショップ	山田　裕 中川義文	2.9.14、28	兵庫県立鳴尾高校 **【文化祭の演劇指導から内容を変更して実施】**
関西学院大学	本田千恵子	2.10.5、12	関西学院大学 **【5/11、18実施を延期し10月実施】**
関西学院大学	島守辰明	2.10.19、 26、11.2、9	オンライン授業
第33回兵庫県高等学校演劇研究会丹有支部 演劇コンクール審査員	孫　高宏	2.11.1	フラワータウン市民センター （三田市）
兵庫県児童館連絡協議会 児童厚生員等研修会	亀井妙子 森　万紀 山田　裕	2.11.6	尼崎市立すこやかプラザ 多目的ホール
新国立劇場演劇研修所	島守辰明	2.11.15～ 12.21	新国立劇場演劇研修所（東京）
兵庫県立神出学園ワークショップ	山田　裕 中川義文 菅原ゆうき	2.11.30、 12.8、9、14	県立神出学園（神戸市）
大阪市立住吉第一中学校体験入学	木村美憂	2.12.3	大阪市立住吉第一中学校
関西保育福祉専門学校特別講座 「劇、オペレッタの演じ方等表現力を学ぶ」	島守辰明	2.12.4	関西保育福祉専門学校
「みんなでつなごう！ 加古川文化フェスティバル」司会者指導	本田千恵子	2.12.28	加古川市民会館
やってみようプロジェクト 「DIEコース in 関西」	本田千恵子	3.2.19～21	オンライン(ZOOM)で開催

（参考）コロナ禍により中止になった演劇指導など

事業等名	劇団員	実施年月日	開催場所
京都芸術大学 舞台芸術学科演技演出コース	田渕詩乃	前期 （毎週木）	京都芸術大学
キング醸造㈱　新入社員研修	本田千恵子	2.4.22	キング醸造㈱本社(稲美町)
兵庫県立神戸鈴蘭台高校３年生文化祭	島守辰明	2.4.22、5.2、29	兵庫県立神戸鈴蘭台高校
神戸大学附属中学校	島守辰明	日程確定前に中止	神戸大学附属中学校
西宮市立西宮東高校文化祭	島守辰明	2.5.20、 6.10、17、20	西宮東高校
西播磨文化会館 演劇ワークショップ	本田千恵子	2.7.25、11.29	西播磨文化会館
兵庫県高等学校演劇研究会 丹有地区夏期高校演劇講習会	本田千恵子	2.8.3	三田市フラワータウン 市民センター
兵庫県自治研修所行政特別研修	本田千恵子 他２名	2.8.5、6	兵庫県自治研修所（神戸市）
教員養成のための未来塾	本田千恵子	2.10.21	関西学院大学聖和キャンパス
兵庫県立山の学校ワークショップ	山田　裕 菅原ゆうき	3.1.22	ピッコロシアター大ホール
日本劇団協議会事業 やってみようプロジェクト にほんごであそぼう（小野・加東）	本田千恵子 他４名	2.8.2、16、 9.12、27 3.1.31、2.28	小野市うるおい交流館エクラ 加東市役所ほか
あつまれピッコロひろば	山田　裕	日程確定前に中止	赤穂市立城西小学校体育館
令和２年度鳥取県高等学校総合文化祭・ 演劇発表会特別審査員	風太郎	日程確定前に中止	米子市公会堂

(3) 外部出演等

他劇団、地域団体等の依頼を受け、演劇公演、放送等での出演や演出などに劇団員を派遣。

事業等名	劇団員	実施年月日	開催場所
コトリ会議　『晴れがわ』 演出・出演	原　竹志	2.7.10～13	伊丹アイホール
		2.8.14～16	金沢21世紀美術館 シアター21
大阪芸術大学短期大学部 就職案内冊子「げいたんは就職もすごい！」 インタビュー	有川理沙	2.9.8	ピッコロシアター 大ホール
橿原市立新沢小学校生徒の児童劇団 リトル・ぐらん「ふれあいIN新沢」上演指導・演出	風太郎	2.10.25	橿原市新沢地区公民館 (奈良)
尼崎北図書館　おはなしＢｏｘ　演出・出演	風太郎 他４名	2.11.8	尼崎市立北図書館
性的マイノリティの人権を考える集い 演劇公演『パパがママになる日』　上演指導	風太郎	2.11.11,28,29 3.1、2、3	米子市淀江文化ホール
ＭＯＤＥ 『魚の祭』　出演	孫　高宏	2.12.18～20	伊丹アイホール
伊丹想流劇塾第４期生公演『禍福あざなう』　出演	原　竹志	2.12.26、27	伊丹アイホール
やんちゃんこ祭り 脚本・演出・振付・演奏・チラシイラスト	風太郎 他４名	2.12.27	ピッコロシアター 中ホール
特定非営利活動法人やんちゃんこ おはなしＢＯＸ　演出・出演	風太郎 他２名	3.3.6	アラカサビル（尼崎） やんちゃんこ ぷらっと スペース
ニットキャップシアター第40回公演 『カレーと村民』　出演	亀井妙子	3.3.9～11	THEATRE E9 KYOTO （京都）
劇団コーロ公演 「眠っているウサギ」　出演	菅原ゆうき	3.3.27	ドーンセンター（大阪）

（テレビ出演）岡田 力：ＮＨＫ 歴史秘話ヒストリア R2.4「楠木正成」、R2.12「大江山鬼退治」
ＮＨＫ連続テレビ小説R2.12「おちょやん」
（ラジオ出演）菅原ゆうき：ＮＨＫ　ＦＭシアター　R2.4「ノストラダムスと冷静な航海士たち」
ＮＨＫ青春アドベンチャー R3.2「負け犬たちのミッドナイト･バス」
（その他：ＣＭナレーター等）山田 裕：R2.2～「日産自動車」「関西電力」
森 好文：R2.3～「上田安子服飾専門学校」
菅原ゆうき：R3.2自費出版書籍販売促進用ポスターモデル・YouTube出演

（参考）コロナ禍により中止または延期になった外部出演など

事業等名	劇団員	実施年月日	開催場所
ピーターパンのふたつのおはなし　出演	鈴木あぐり	2.5.2、3	新横浜スペース・オルタ
にしきた音楽祭「ＬＡＬＡＬＡミュージシャンコンテスト」公開予選　司会	本田千恵子	2.9.6	西宮市大学交流センター
		2.9.13	阪急西宮ガーデンズ
高山右近フェスタ　出演	本田千恵子	2.10.17	オンライン（実地開催からの変更であったが、オンライン自体も中止）
西北活性化協議会主催 ミュージカル「オン・ザ・タウン」 前夜祭イベント　出演（絵本読み聞かせ）	－	日程確定前に中止	兵庫県立芸術文化センター
ニットキャップシアター第40回公演 『カレーと村民』　出演	亀井妙子	3.1.14～17 →3.5.7～10 延期	こまばアゴラ劇場（東京都）
コトリ会議　『晴れがわ』 演出・出演	原　竹志	2.8.7～11 →3.3延期 →中止	こまばアゴラ劇場（東京都）

(4) ピッコロサポートクラブへの支援

尼崎商工会議所等が中心となって、平成８年に設立されたピッコロ劇団の後援会組織である「ピッコロサポートクラブ」の活動支援として、情報誌『into』発行など会員向けサービス事業を共同実施。

【会員数（口数)】法人会員・個人会員計 338 口（R3.3.31 現在）
【情報誌の発行】年４回発行（Ａ５版、20 ページ)、約 10,000 部発行
【会員向け事業】ピッコロ劇団公演チケット優待、稽古場見学会、茶話会、総会・交流会など

※　令和２年度はコロナ禍により総会や交流会、稽古見学会の開催をとりやめ。会員とのオンライン交流会を試行的に開催。(R2.12.6 会員参加者数９人)

３　人材育成・体験活動事業

(1) ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校の運営

演劇創造について幅広く学ぶ演劇学校（本科 1983 年開設、研究科 1984 年開設)、音響・照明・美術などの基礎技術を学ぶ舞台技術学校（1992 年開設）を運営。関西・日本を代表する演劇人、舞台技術者等を講師陣に迎え、プロ、アマチュアを問わない演劇関係人材や地域の文化活動リーダー、文化施設スタッフなどの養成を継続。

〔コロナ禍の影響を受けての対応〕
両校は、例年１年間を通じてのカリキュラム編成となっているが、令和２年度に限っては、９月からの約半年間、基礎的知識の習得を目的とした、短縮カリキュラムによる体験プログラムとして実施、２、３月には例年の卒業公演に替えて、学習成果発表会を開催した（無観客対応、関係者のみ立ち合い)。
なお、実施にあたっては、毎授業、参加者全員が検温・手指消毒を行い、常時のマスク着用、アクリルボード等も併用するなどの対策を講じた。

（文化庁劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助）

区　分	ピッコロ演劇学校 体験プログラム		ピッコロ舞台技術学校 体験プログラム
概　要	舞台づくりの楽しさや面白さを味わいながら、表現力や創造力を身につけるなど、将来の演劇創造者、地域に根差した文化活動リーダーを養成		クリエイティブな地域文化のステージづくりと文化施設運営の活性化を図るため、舞台芸術を支える美術、照明、音響の舞台技術者を養成
期　間	令和２年９月 13 日 ～３年２月 28 日（本科） ～３年３月７日（研究科）		令和２年９月４日～３年３月７日
場　所	ピッコロシアター		ピッコロシアター 県立芸術文化センター（特別授業）
授　業	原則、毎週２回（火・木の夜間）		原則、毎週２回（水・金の夜間）
講　師	① 本科 主任講師 山田 裕(ピッコロ劇団員) 助手 菅原ゆうき（同）　他 ② 研究科 主任講師 島守辰明(ピッコロ劇団員) 助手 樫村千晶（同）　他		① 美術コース 主任講師 加藤登美子（舞台美術家） ② 照明コース 主任講師 水野雅彦（㈱ハートス） ③ 音響コース 主任講師 林 哲郎（ｻｳﾝﾄﾞｳｯﾄﾞｶﾝﾊﾟﾆｰ代表）
特別講師	平田オリザ、鐘下 辰男　他		服部 基、堀尾 幸男
受講生	本科　参加 22 名 修了 19 名	研究科 参加 16 名 修了 12 名	参加 15 名〔美術８名、照明３名、音響４名〕 修了 14 名〔美術７名、照明３名、音響４名〕

【特別講義】

区　分	期　　日	特　別　講　師	講義テーマ
演劇学校	2.10.11	平田オリザ（劇作家・演出家）	演劇を学ぶとは
	2.11.21～22	鐘下　辰男（劇作家・演出家）	演技の基本
舞台技術学校	2.10.31～11.1	堀尾　幸男（舞台美術家）	舞台美術のはじまり
	2.11.7～8	服部　基（舞台照明家）	舞台照明を考える

※　岩松了（劇団代表）による特別講義（3.1.23～24）：コロナ禍により中止

【オープンキャンパス】

期　　日	期　日	概　　要	参加者
舞台技術学校	2.12.22	学校説明、実際の機材を使って音響・照明・舞台操作の体験ツアー	38
演劇学校	3.1.17	学校説明、身体訓練等の授業体験	18

【学習成果発表会】

令和２年度は演劇学校と舞台技術学校の合同発表ではなく、各々半年間の学習成果を発表する場を設定（無観客実施、関係者のみ立ち合い）

<table>
<tr><th>演劇学校（本科）</th><th>演劇学校（研究科）</th><th>舞台技術学校</th></tr>
<tr><td>3.2.27(土)～28(日)
中ホール</td><td>3.3.6(土)～7(日)
中ホール</td><td>3.3.7(日)
大ホール</td></tr>
<tr><td>演目「あゆみ」
作＝柴幸男
潤色・演出＝山田裕
（ピッコロ劇団員）</td><td>演目
「三人姉妹４幕のドラマ」
作＝A.チェーホフ
潤色・演出＝島守辰明
（ピッコロ劇団員）</td><td rowspan="2">当初は「ダンス公演」と「演劇公演」について、プロ団体「ダンスボックス」と「劇団演陣」に依頼してのオペレーションを実施予定としていたが、これらの準備継続が難しいことから、公演のためのプランを各自が完成させ、それらの発表・講評の機会を設定しての対応。
「音楽ライブ」は年末の軽音楽ライブ実習でプロの演奏者を招きオペレーション体験。</td></tr>
<tr><td colspan="2">〈本科〉〈研究科〉共通
・上演台本については、授業時間の変更・短縮、出席停止の事態も想定し、代役や場面カットなど、様々な状況にも対処できるよう潤色や演出面で工夫
・「三密」回避のため、上演時の距離を十分にとりながら、美術・照明・音響いずれも極力使わずほぼ素舞台とし、アクティングエリアを最大に設定</td></tr>
</table>

(2) ピッコロ・山根演劇賞の贈呈

県立ピッコロ劇団員のうち優れた演劇活動を行った者２名に贈呈した。

対　象　者	備　　考
ピッコロ劇団員 三坂　賢二郎 平井　久美子	サントリー地域文化賞の副賞をもとに平成元年３月に創設。その後、神戸新聞奨励賞、久留島武彦文化賞、紀伊國屋演劇賞の賞金、山根淑子氏の寄付等により基金額を増額。

※　演劇学校生及び舞台技術学校生に対しては、例年３名に贈呈しているが、令和２年度は贈呈を中止。

(3) ピッコロシアター文化セミナー　（文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助）

著名な舞台人の芸談、専門家による伝統芸術の紹介・解説などの文化セミナーを開催し、舞台芸術への関心を高め、地域文化の振興を推進。（大ホール）

事　　業　　名	期　　日	出演者等	入場者
ピッコロシアター文化セミナー 〈98〉三林京子さんに聞く 「私の女優人生」	3．1．14(木)	出演＝三林京子(女優・落語家) 聞き手＝亀岡典子 （産経新聞社文化部編集委員）	125

※　令和２年６月予定の〈97〉「三世 茂山千之丞さんに聞く（狂言師）」は、令和３年６月に〈99〉として開催。

(4) **研修生等の受け入れ**（２年度実績）
県立尼崎高２人（２.10.28）　※コロナ禍により受入実績は殆ど無し

(5) **視察見学等の受け入れ**（２年度実績）
舞台芸術の公演現場や劇場建築・施設の視察見学等を希望する団体などを受け入れ。
大阪市立咲くやこの花高校（大ホール見学）、大阪市立大学大学院（ヒアリング）
※ 兵庫県空調衛生工業会：３年度に延期

(6) **ピッコロ実技教室**
伝統芸能や演劇等の体験的学習、解説をまじえた実技教室を開催し、舞台芸術への関心を高め将来の鑑賞者の育成を推進。

事　業　名	期　日	出演者（指導者）等	入場者数
オペラの普及をめざして 関西二期会オペラ研修所と連携 「ピッコロオペラ教室」 オペラの楽しみ方 「第 56 期生による修了オペラ」 （演目：コシ・ファン・トゥッテ）	３．３.26(金)	講師：小餅谷哲男 関西二期会副理事長	36
	３．３.27(土)	関西二期会オペラ研修所 第 56 期生　ほか	92

４　コロナ禍による新たな取組―動画配信―

ピッコロシアターとピッコロ劇団の事業・公演について、より幅広い客層に関心を持ってもらい、コロナ収束後は、実際に足を運んでもらえるよう、ＳＮＳやホームページ等を通じて、ＰＲ動画、劇団員による紙芝居の読み聞かせ、朗読ムービー、歌唱リレー、劇場探検ツアーなど、新たなコンテンツ配信などの取組を進めた。

<table>
<tr><th>区　分</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">「#またピッコロで会いましょうプロジェクト」</td><td colspan="2">コロナ禍で演劇などの鑑賞機会が減った方に向けて、ピッコロ劇団員がツイッターやユーチューブなどを活用して自宅で気軽に楽しめる取組を提供。</td></tr>
<tr><td>①オンライン版
「おはなしＢＯＸ」</td><td>普段、ピッコロ劇団が図書館や公民館、子育てサークルなどで行っている取組「あつまれ！ピッコロひろばおはなしＢＯＸ」をオンラインで実施。劇団員が脚本・絵・朗読を担当し、地元の民話や古典落語などを元にした紙芝居を動画配信。多言語（英語）・聴覚障害者にも配慮し、字幕をつけた。
<table>
<tr><th>タイトル</th><th>制作（ピッコロ劇団員）</th><th>字幕なし</th><th>日本語字幕</th><th>英語字幕</th></tr>
<tr><td>第１弾「名月姫と松王丸」
第２弾「富松町の鬼 茨木童子」</td><td>風太郎</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>第３弾「古典落語 釜ぬすっと」
第４弾「古典落語 粗忽の使者」</td><td>風太郎、岡田力、三坂賢二郎</td><td>○</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>第５弾「童話　ロバの王子」</td><td>車貴玲、金田萌果、有川理沙、田渕詩乃、吉江麻樹、風太郎、三坂賢二郎、岡田力</td><td>○</td><td>○</td><td>－</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>②紙芝居
「グッドガール
シンシア」</td><td>ピッコロ劇団第 66 回公演『夢をみせてよ』関連企画として製作した、宝塚市の介助犬シンシアの物語を紙芝居『グッドガール シンシア』として動画配信
＜字幕なし版＞＜日本語字幕版＞
（風太郎、吉江麻樹、吉江麻樹、三坂賢二郎、岡田力）</td></tr>
</table>

	③朗読ムービー 「放課後の時間割」	児童文学作家：岡田淳氏の「放課後の時間割」から選りすぐりの物語を劇団員が朗読 （平井久美子、橘 義、鈴木あぐり、谷口 遼、橘 義）
	④『さらっていってよピーターパン』より 「おいかけあい」	ピッコロ劇団前代表・別役実氏によるピッコロ劇団ファミリー劇場への初の書き下ろし作品『さらっていってよピーターパン』から、劇団員による「おいかけあい」（作曲=氷見嘉章）のナンバーを過去の上演映像とともにリレー式で歌唱（全劇団員）
	⑤『ピッコロシアター劇場探検ツアー』	劇団員：本田千恵子と人形のミミちゃんによる、普段みることのできない劇場機構の裏側を紹介する劇場探検ツアー〈シアター編〉〈劇団編〉 （本多千恵子、風太郎、三坂賢二郎、木村美憂）
	⑥Twitter 企画 『３０秒 de 名台詞』	劇団員が思い入れのあるセリフをリレー式に 30 秒で紹介（計 22 名）
劇場・劇団のＰＲ動画	①ファミリー劇場のＰＲ動画『ようこそ冒険の広場へ』 （県からの受託事業）	ファミリー劇場のダイジェスト版をＨＰにアップし、ピッコロ劇団公演の作品と魅力を動画配信 （構成）①またピッコロで会いましょう　②ファミリー劇場は冒険でいっぱい　③「とっととといてよ！シャーロック・ホームズ」お楽しみに！（公演告知）
	②ピッコロシアター魅力発信事業によるＰＲ動画の制作 （県からの受託事業）	劇場の取組を紹介するＰＲ動画を制作・ＨＰで配信 （構成）①ピッコロシアター編（日本語字幕・手話通訳付き、英語字幕付き）②ピッコロ演劇学校・舞台技術学校編 ③ピッコロ劇団編
ピッコロサポートクラブによるオンライン交流会		例年開催している総会や交流会、稽古見学会は中止、劇団員と会員とのオンライン交流会を試行的に開催（R2.12.6、会員参加者数９人）
「県民芸術劇場」公演演目のＰＲ映像制作（県民芸術劇場支援事業※）		３年度予定公演をＰＲするための映像を制作 （対象）小学校公演「学校ウサギをつかまえろ」 ※「県民芸術劇場」登録団体の舞台芸術の映像をＷｅｂ上で無料配信し、市町・小学校・高校等が「県民芸術劇場」の実施を検討する際に活用してもらう芸術文化協会事業
演劇学校・舞台技術学校体験プログラム開講前の事前学習講座を動画配信		半年間の短縮カリキュラムになることから、参加者に対して事前に予習動画や基礎講座をオンライン配信して、学習内容のレベルを維持

５　施設の管理運営事業

(1) 劇場施設の利用状況

青少年の演劇、音楽、舞踊等の創造活動を促進するとともに、県民文化の高揚を図るために設置された「県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）」の指定管理者として、鑑賞劇場、文化セミナー等の自主事業を実施するほか、施設の適切な管理と運営、演劇、音楽、舞踊等の舞台芸術を創造しようとする県民の練習・発表の場として、ホールや練習室などを広く提供している。

【所在地】　尼崎市南塚口町３丁目 17 番８号
【施　設】大ホール(客席数 396 席)／中ホール(収容 200 人)／小ホール(収容 100 人)
楽屋（６室）／練習室（３室）／資料室（閲覧室・書庫）／舞台美術工房　等
【ホール等利用実績（２年度)】利用者数　29,120 人（前年度同期 118,729 人）
利用率　　74.9%（前年度同期　　91.8%）

【利用状況】

区　分	利用者数（人）		利用率（%）	
	元年度	２年度	元年度	２年度
大ホール	54,656	13,159	91.5	74.1
中ホール	18,353	4,188	90.5	67.8
小ホール	22,359	6,886	92.2	76.1
練習室	13,199	4,213	89.5	77.2
展示室（～R1） 閲覧室（R3.1～）	7,423	605	－	－
資料室（～R1） 書庫（R3.1～）	2,739	69	－	－
計	118,729	29,120	91.8	74.9

（注）展示室及び資料室は令和元～２年度の大規模改修工事により閲覧室及び書庫にリニューアル。閲覧室及び書庫は令和３年１月より供用開始。

【利用料収入】　（単位：円、税込）

区　　分		利　用　料　収　入	
		元年度	２年度
ホール等	大ホール	6,694,750	1,935,079
	中ホール	1,928,500	620,600
	小ホール	2,285,450	1,325,650
	楽屋	871,600	352,140
	練習室	1,581,600	923,325
	展示室(R1 まで)	86,000	－
	ホール等計	13,447,900	5,156,794
付属設備		6,600,000	2,264,850
合　　計		20,047,900	7,421,644

（参考）**本館の大規模改修工事について**（国の地方創生拠点整備交付金等を活用）

・県土整備部営繕課及び設備課と連携して工事を実施

・総事業費：348 百万円（うち令和２年度当劇場直接執行分 42,869 千円）

・平成 31～令和２年度の工事期間

第Ⅰ期工事：令和２年２～３月（練習室、資料室、展示室を閉室）

第Ⅱ期工事：令和２年７～８月（本館休館（事務室は開室））

※大ホール内エレベーター設置工事は 12 月に完了

工期	改修内容	改修箇所・内容	工事内容
第Ⅰ期	人材育成に資する改修	舞台美術工房(地下)の整備	・不要な空調機システムを撤去 ・舞台大道具･小道具を製作する工房に改装
		書庫･交流スペースの整備（資料室）	・資料室の書庫化 ・展示室を開架式閲覧・交流スペースに改装
	快適・利便性の向上に資する改修	練習室の防音機能向上	練習室３室の防音換気機能向上（改装含む）
第Ⅱ期		ホール天井照明の更新　＊	大・小ホールの天井灯をＬＥＤ化
		大ホール内ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ設置　＊	ホワイエ奥に障害者等対応エレベーター新設
	安全・長寿命化のための改修	電気設備等更新	高圧変受電設備更新
		給排水管等改修	受水槽・給排水管等の更新
第Ⅰ期		外壁･屋上等整備	外壁補修、屋上防水

（＊：R2 当劇場対応分）

(2) 情報の提供・発信

(ｱ) 演劇等舞台芸術関係資料の提供

青少年などの幅広い創造活動を支援するため、令和元年度に整備したピッコロシアター資料室（閲覧室・書庫）において、演劇・音楽・舞踊などの舞台芸術専門書等の閲覧・貸出を行うとともに、照会にも対応。

なお、ピッコロ劇団初代代表、故・秋浜悟史氏のご遺族からの寄贈蔵書約 5,500 冊を「秋浜文庫」として受け入れ、書籍の充実を図った。

【新・資料室（閲覧室・書庫）について】
・開室時間：10:00～18:00（資料の閲覧請求・貸出受付時間：13:00～17:00）
・１人３冊、２週間まで貸出
・蔵書検索システム（スマホ対応）・閲覧室内の検索システム端末などで資料を検索
《蔵書検索へのアクセス》https://piccolo-library.opac.jp
・閲覧室で自由に閲覧可能
・閲覧室には、高校演劇などの台本を設置（開架式）

(ｲ) ホームページの利用状況

施設概要、利用案内、事業内容、劇団情報などを掲載し、広く情報発信。
【R2 アクセス件数】77,583 件

令和２年７月にピッコロシアターのホームページをリニューアル、より見やすく分かりやすいレイアウトとなるようデザインを一新、スマートフォンからも見やすくするなどの改良を図り、情報発信力の充実を図った。

※　新ＵＲＬ　https://piccolo-theater.jp　（リニューアルに伴い URL 変更）

・主催公演や募集情報等がより分かりやすくタイムリーに伝わるようビジュアルを工夫。
・『今日の劇場』のコーナーで貸館情報も含め日々の劇場の動きが分かるレイアウトに更新。
・スマートフォン、タブレット端末等にも対応するレイアウトにしてＰＲ効果を向上。
・フェイスブック、インスタグラム、ツイッターを活用したＳＮＳにより発信。
（内　容）＊ 公演＆参加する　　公演・募集情報、月間スケジュール　等
＊ 劇場を知る＆使う　　フロアガイド、利用案内、空き状況　等
＊ ピッコロ劇団　　劇団員プロフィール、上演記録　等
＊ ピッコロ演劇学校＆ピッコロ舞台技術学校　学校案内、学校Ｑ＆Ａ　等

(ｳ) ＳＮＳの活用

・劇場ブログ「ピッコロ便り」	アクセス数	400～500 件／日
・劇団ブログ「稽古場ダイアリー」	アクセス数	200～300 件／日
・学校インスタグラム	閲覧数	200～300 件／日
・全体フェイスブック（登録者数 700 名）	閲覧数	500～600 件／日
・ツイッター	閲覧数	1,500～1,600 件／日

(ｴ) 定期刊行物の発行・配付

月間催し物案内（毎月）やピッコロ劇団後援会機関紙「into」（年４回、各 2,000～3,000 部程度）を発行し、来館者、近隣の公共施設や文化施設等に配付。

(ｵ) 芸術文化情報コーナー

館内の２箇所に芸術文化情報コーナーを設置。県内外施設の芸術文化関連のイベント、チラシや情報誌を配架し、来館者に情報提供。

(ｶ) 広報媒体を通じた発信

・ 定期的なプレスリリース送付に加え、公演形態・稽古スケジュール等に応じた記者会見や稽古取材、個別インタビュー、新聞社訪問、劇団員等の在阪メディアへの出演を適宜実施。

・ 地元ＦＭ局にピッコロシアター・ピッコロ劇団コーナーを運営。
ＦＭ尼崎「ピッコロ通信」毎月第２・４土曜
「こちら、阪神南県民センターです」（約２カ月に１回、劇場の事業紹介）
ＦＭ宝塚「ピッコロ劇団公演情報」毎月第２月曜）

〔劇団公演等にかかる記者会見、主な個別取材の状況など〕

劇団公演関係	メディア・掲載日など
オフシアターVol.36 「もういちど、鴨を撃ちに」	(個別取材)3/25:神戸新聞
ファミリー劇場 「とっととといてよ！シャーロック・ホームズ」	(個別取材)7/28:毎日新聞、7/29:神戸新聞
第68回公演「ホクロのある左足」	(個別取材)9/15:毎日新聞、9/16:読売新聞、9/18:朝日新聞)、9/20:神戸新聞、10/4:日経新聞、10/16:ラジオ関西、テアトロ 12 月号、12/1:大阪日日新聞
第69回公演「波の上のキネマ」	(記者会見)1/6:ホテルヴィスキオ尼崎 (座談会)1/19:毎日新聞 (個別取材)2/1:ラジオ関西、2/10:FMCOCOLO、2/19:毎日新聞

劇場事業関係	メディア・掲載日
シアタースタート「あるなつあきふゆあそぼあそぼ」	(個別取材)2/15:神戸新聞

劇団員インタビュー、ピッコロ劇団に係る論評など　※( ):劇団員等関係者	掲載新聞
「紙芝居や朗読、動画を配信」	毎日新聞(5/28)
「朗読劇　ネット公開」	読売新聞(6/5)
「演劇の楽しさ　おうちで体験」	神戸新聞(6/12)
「別役実の世界」(岩松了)	毎日新聞(9/24)
「随想」6回(岩松了)	神戸新聞(5/18、6/2、6/17、7/2、7/17、8/5)
「遠隔コミュニケーションに何が必要？他者への想像力が大切」(本田劇団員)	神戸新聞(5/22)
「#また、ピッコロで会いましょうプロジェクト」論評	テアトロ 9 月号
「ホクロのある左足」劇評	テアトロ 12 月号
「ホクロのある左足　若者への共感と声援込め」劇評	大阪日日新聞(12/1)
関西現代演劇俳優賞受賞	神戸・毎日新聞(4/16)
「イベント自粛　公立劇場が悲鳴」(大鳥館長)	朝日新聞(4/2)
「京阪神　劇場関係者 Zoom 座談会」2回(古川専門員)	毎日新聞(6/4、6/11)
「舞台芸術の鑑賞サポート　音声ガイド　役者手ずから製作」(古川専門員)	毎日新聞(4/18)
「赤ちゃんこそ劇場体験を」(田房専門員)	神戸新聞(12/13)